

## 第41回

# 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会

日 時：平成23年8月4日（木）

午後6：00～

場 所：人権啓発センター3階大会議室

## 次 第

開 会

### 1. 議 事

- (1) 第40回策定委員会議事録概要版の確認
- (2) 施設整備のあり方について
- (3) その他

閉 会

(事前配布資料一覧)

資料 8 5 第 4 0 回策定委員会開催概要及び議事録概要版 (案)

資料 8 6 クリーンセンター建設計画想定質問及び回答集 (案)

## 第41回策定委員会開催概要及び議事録概要版

件名	第41回 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会	
日時	平成23年 8月 4日 (木) 18:00~19:55	
場所	人権啓発センター 3階大会議室	
出席者	委員	片山信行、木内喜久子、國領弘治、阪本昌彦、佐藤真理、高杉美根子、田中啓義、田中幹夫、元島満義、森住明弘、安田美紗子、山口清和、山口裕司、吉岡正志、吉田隆一、渡邊信久 (今井範子、笹部和男、坊忠一、古海忍、三浦教次委員は欠席)
	事務局	息田部長、阪本次長、吉住参事、堀課長、森田工場長、村田課長、美馬主幹、平木主任、田中主務
	コンサル	堀 善雄
開催形態	公開	
記録作成者	奈良市施設課	
配布資料	資料85	第40回策定委員会開催概要及び議事録概要版 (案)
	資料86	クリーンセンター建設計画想定質問及び回答集 (案)
会 議 内 容		
<p>開 会</p> <p>部長挨拶</p> <p>1. 議 事</p> <p>(1) 第40回策定委員会議事録概要版の確認</p> <p>(2) 施設整備のあり方について</p> <p>(3) その他</p> <p>閉 会</p>		

議 事 要 約 内 容	
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定刻になりましたので始めさせて頂きたいと思います。 本日は大変お忙しい中、ご出席を賜り、誠に有り難うございます。今回は奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会の第41回目の会合です。 委員会開会にあたりまして息田環境部長より、ご挨拶を申し上げます。 「部長挨拶」</li> </ul>
息田部長	
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本日の出席状況は、委員総数21名の内、現在12名の方に御出席を頂いており、本日の委員会は成立していることをご報告申し上げます。議事の進行は、渡邊委員長にお願い致します。</li> </ul>
渡邊委員長	
事務局（美馬）	<p>1. 議 事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● まず、今日の資料確認からお願い致します。 「資料の確認及び訂正」</li> </ul>
渡邊委員長	
事務局（美馬）	<p>(1) 第40回策定委員会議事録概要版の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料の想定質問及び回答集に関する件ですが、質問と回答例が載っていますが、適切な質問回答か、まだ決まっていないものが含まれてますので、しかるべき修正をしてから公開をしたいと考えてますので、終わったあとで回収させて頂きたいと考えてます。 事務局の方、想定質問集及び回答集（案）をお配り願います。 議事録概要版について、事務局に何か修正意見等は来てますでしょうか。</li> </ul>
渡邊委員長	
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在のところは来ておりません。</li> </ul>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● これにつきましては、今日の会議が終わりましたら、確定ということで先へ進めさせて頂きたいと思います。 前回委員会でQ&amp;A形式での広報活動を継続して行いたいということで、想定質問及び回答集を作った訳ですが、事務局に説明して頂いて、それからご意見を賜りたいと思います。</li> </ul>
事務局（吉住）	<p>(2) 施設整備のあり方について 「資料86の説明」</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体としてQ&amp;Aを作り、全部がしみんだよりに載る訳ではなく、この中から取っ付き易いものを、噛み砕いた書き方で載せたらどうかと。途切れることなく、問題意識を持ち続けてもらうために、紙面をさいて頂いたらどうかという。そのまましみんだよりに載る訳ではございませんので、皆様からのご意見を頂戴したいと思います。</li> </ul>
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般論的な答えが多く、市民が疑問に思ってることについて、説明されていないと思います。例えば2-7で、パブリックコメントやHPで広報してい</li> </ul>

A委員	<p>ますが、言い放しで、自分にとっての疑問を晴らしてくれないことが多いです。こういう回答をしますと、はぐらかされたと思ってしまう訳です。回答の仕方は本当に難しいです。行政がすることの具体的な狙いを、一般市民の方にどうしたら伝え易くなるのかを絶えず意識しながら、回答をするようにならないといけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 私も読ませて頂き、これじゃ困るなという意識を持ちました。まず現在の施設についてのところで、22年度1年の実績が書かれてますが、最低10年くらい遡って、奈良市のごみがどう減っているのか増えているのかを見て分析しないと意味はなさないです。</li> </ul> <p>埋め立て処分場の問題で、今年は雨が多いからいいと思いますが、排水量が減ってくると、塩分濃度が高くなって、農作物等に被害が出る可能性がある訳です。法律で定めた基準はありませんが、塩分濃度を薄くするための施設を造られた訳です。そういう状況で、適正管理の元に埋め立てされて問題ありませんと、さらっとおっしゃってますが、認識が甘すぎると思います。こういう施設を造った場合には、環境に色々な迷惑かけるんです。きちっとするという意志を持たないといけないと思います。それから、3の6番、ダイオキシン問題です。御所市が2年位前にプロパンガスのボンベが焼却場に入り、焼却施設の基礎が崩れ、1年位前からダイオキシン発生し、操業停止しています。困りかねて御所市は田原本町と施設を合併して処理したいということで、覚書の締結ができるかできないかの状況です。ダイオキシン問題についても奈良県内にあるんですが、近くではそういう問題はありませんというふうな言い方をしています。情報を収集して回答が書かれてません。</p>
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● A委員さんは経験豊富で知識がおありですが、市民全体の機運を盛り上げるために、市民だよりに広報するという考えで、市民の目線というのを意識しないといけないと思います。私はこの程度の表現で、一般論でまずはいいと思います。この程度の目線であれば、無関心な人も関心呼び起こす意味はあるのではないかと。一度やって、詳しいことを言う必要があれば、段々詳しくしていく。まず現在の焼却施設はだめだから、移転建設しなければならない。それは市民一人ひとりの問題ですということを、植えつけることが広報の意味ですから、このレベルでいいのではないかと考えてます。ただ、5番の候補地の住民との合意形成については、一番汗をかかなければならない仕事です。これをいつの段階で載せるのか、市長がどう動くのか、どういう手順でお願いに行くのか、後回しにしたほうがいいのではないかと考えてます。</li> </ul>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 5番の合意形成が不可欠であると考えてます、と簡単に言っていると思っ てないので、ちょっとひっかかりました。吉岡委員のご意見は、機運を盛り 上げるということを目的に、誰もがそう関心のない中でも、なるほどって思 えるところから入るのは賛成であるということです。Q&amp;Aは、今日これを</li> </ul>

元島委員	<p>すぐに選びましょうという話はしませんので、次の次くらいからでも、ちょっとずつ出したらいいと思います。</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会社でも、総務は社内報等で載せてました、読んでないのはあなたでしょというような言い方をしますが、それではいけないというのが、皆さんのご意見だと思います。是非とも市長に、自分の思いをこめて、自らの姿勢を示すために、タウンミーティングなど、市長の顔が見えるところで、市民の皆さんに訴える。新しいまちづくりの一環として、ただ施設を移転するだけでは、だめだと思いますので、市長の大きな思いを共にしてもらおう。しかも今あるところや来られるところの関心だけでなく、それ以外のところで、もっと強調してもらえようような姿勢を市長にお示し頂きたいと思います。</li> </ul>
事務局（吉住）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全市的な関心と呼び起こして、市長のメッセージとして。予算のかかる話ですので、地元の合意形成というよりは、奈良市民全体の合意形成ですね。そういうところも、やらないといけません。私は、候補地から外れたところが、一気に興味を失っていく現場を、この会議を通して初めて目にした訳です。そうであってはいけない。どこに造るにしても、それ相応の費用は掛かるので、どこで造ってもそんなに大きな違いはないくらい、考えなきゃいけないです。</li> </ul>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料86番の修正意見頂きましたが、叩き台と理解してますので、委員の皆さんには、もう少し変えた方がいいとか、こんな質問が市民の方から出るのではないかということをお意見を8月20日頃までにご意見頂いたら、それを加味して、修正案として提案し、また検討頂けたらと思います。</li> </ul>
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 想定質問と回答集についてご指摘頂くことがあれば、8月20日頃までに、事務局の方に頂きたいと思います。PRについては、継続的に行うということで、Q&amp;Aの話がでた訳ですが、市役所全体としての意気込みを見せる形で、広報活動を続け、全市的な合意を得られるように進めていきたいと思えます。しみんだよりは貴重な紙面ですし、書いた言葉一つ一つが重いので、突拍子もないことも書けませんので、気をつけたいと思います。</li> </ul> <p>議事ではその他になるんですが、事務局から報告事項をお願いします。</p> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 全部で4つ報告事項があります。策定委員会委員の変更と、道路拡幅要望に対する対応状況、しみんだより7月号に掲載された市民からのお問い合わせ、左京地区自治連合会から市長あてに説明会の申し入れの4件について、まとめて報告させていただきます。</li> </ul> <p>「策定委員会委員変更に関する報告」</p> <p>「道路拡幅要望に対する対応状況の報告」</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1つ目は、笹部委員の交代です。9月16日の会議から、新しい方に来て頂くということです。もう一つは、東部地域での道路に関する件で、市の方針、</li> </ul>

事務局（村田）	<p>これは、どこの部分をどう改修するという方針をとりまとめたんですね。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● そうです。国道とか県道は、管理してるのが奈良県ですので、県の整備する区域という位置付けになりますが、奈良市として、こういうことをしたらいいのではないかと整備案をまとめ、奈良県に提示させて頂きました。</li> </ul>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 6月10日に、市がまとめた方針案を要望書として県に提出したということですね。</li> </ul>
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 6月10日には、知事宛に整備をしてくださいという要望書を出しましたが、まだその時点では整備案がまとまってませんでしたので、7月末に奈良県に整備案を提出させて頂いて協議を進めています。</li> </ul>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 返事がくるのはいつくらいでしょうか。</li> </ul>
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 返事というのは無いです。それを今後継続して協議を進めていくという形になります。奈良県では、道路の整備計画がございまして、平成21年度から25年度の道づくり重点戦略を作られています。その中に、国道369号と県道奈良笠置線は整備する予定の区域には入ってませんので、今後奈良市と県と協議しながら、奈良市としてのまちづくり等も考え、整備の必要性のランクを上げないことには、奈良県も手が付けられないという状況です。奈良市としても、まちづくりの案をまとめていかなければならないと思っております。</li> </ul>
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 7月末に市が、どういう内容のことをまとめたのか。なぜまとめた方針案はここへ出せないのか。なぜ県から見るとランクが低くなってるのか。その説明をお願いします。</li> </ul>
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 7月末に出させて頂いた案は公文書として出した訳ではなく、奈良市としてはこういう整備の方法を考えましたというだけで、それを県として、その整備が的確かどうかを、判断する段階ではないんです。まず、必要性を出してくれというのが県の回答です。</li> </ul>
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 必要性というのは、整備を何故しなければならないのか？</li> </ul>
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● そうです。他の5ヵ年の中に入っている道路は、幅員が狭いとか、奈良市でももう少し東の方へ行けば、幅員が4m位しかない国道もあります。そういうところは離合ができないなどの問題があり、そういうところを先にしましょうというのが県の立場です。6mから7m位の道路幅員がありますので、早急に整備しなければならない区間ではないという考え方です。</li> </ul>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 7月末に方針を奈良市から奈良県に、出したけれども、今のご説明からすると、あまりそれを受け入れてもらえないような感じですか。</li> </ul>
事務局（吉住）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国道369号線は、奈良県が管理している道路です。奈良県は、基本的には5ヵ年計画という全体計画を作られて、公表はされていますが、特に重点的に5年間で整備しなければならない道路、奈良県全域で、奈良市から南は吉野までの区間で、予算の枠の中で、重点路線として位置付けてるものについては、予算をセットして経年でやっておられます。県庁東交差点からクリーンセンター候補地までの道路、国道369号線は、基本的に整備済路線という位置</li> </ul>

	<p>付けを、奈良県はしておられます。早急に整備が必要な路線として位置付けておられません。整備して頂くとすれば、緊急性・必要性や、安全対策上特に問題があるなど、道路の現況調査において、市の方から、こういう問題があるから、グレードをあげて整備してほしいということを整理してくださいという投げかけを頂いてます。特に問題のある数か所の調査は終わったんですが、必要性の整理をさせて頂いているところです。それとなぜこの策定委員会に、資料として出せないかという話ですが、県との協議のやりとりの中で、1回出した資料について、修正意見が出たら修正し、毎回協議するごとに資料の中身が変わってきます。どの時点が正というのがないんです。最終的に必要性の整理をして、県との協議の中で、資料を受けてこれから奈良県として、どう対応するか検討を頂くことになるんですが。今は資料のやりとりで対応していますので、現時点では途中経過の資料で、策定委員会にお出ししていません。必要であれば、パワーポイント等でご説明させて頂いていいですが、最終案になっていません。道路問題については、奈良市で対応しなさいということですので、あまり詳しい内容をご説明しますと、策定委員会に提案する資料が膨らんでくることもあり、経過報告の説明しかすることができなかったということです。</p>
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● その報告で充分と思います。方針を取りまとめて、7月末に県に提出して、返答を待つ。今までの流れからすると、国道369号線の般若寺から想定される地域までの道については、ランクがあまり高くないので、簡単にはいかないという感触だというお話です。どのくらいの道路の改修の必要性があるのか、実際どれくらい混むのかも、やってみないと分からないということで、以前、東部の自治連合会と雑談しているときに出てきたのが、自動車走らせてみて、社会実験やってみましょうかと。それだったら分かるじゃないかということで、予算取りをして、市の方で準備を進めているというお話だったと思います。これについて、詳しいことを教えて頂きたいと思います。</li> </ul>
<p>事務局（村田）</p>	<p>「交通実験の説明」</p>
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パッカー車がある場合とない場合で、向こうに着くまでに、いつもだと20分なのが、パッカー車が60台だと、25分かかるとか30分かかるとか、そういったことをされるんですね？時期的には10月の…</li> </ul>
<p>事務局（村田）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 10月の初めくらいに出来たらとは思ってますが。</li> </ul>
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通実験を行うにあたって、東部地域の方と話をしたときには、協力できたらするよと、おっしゃってたんですが、それはどんな状況でしょうか。</li> </ul>
<p>事務局（村田）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 以前に一度お願いしたままで、今のところ、もう少し具体的になれば説明させてもらうということで終わってます。</li> </ul>
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 時期はお伝えしてるんですね？</li> </ul>
<p>事務局（村田）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● そのくらいの時期でお願いしたいと伝えましたが、協議中です。</li> </ul>
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今の交通実験について、ご意見ある方がおられましたら、ご発言願います。</li> </ul>

森住委員	● 東部だけでなく、影響を受ける地区の方々に、目的を伝えたほうが良いと思います。市の基本方針はどうか。そういう疑問当然出てきます。そのときに、関係する影響を受ける住民の方に、まんべんなく知らせる必要がある。単なる数値を出すだけの実験違いますからね。対象者は誰なんだと。その方達に、どういうふうに説明したらいいのか、その辺から議論を始めてしないと、折角やったにも関わらず、関係する住民の方々から、あまり評価受けない結果になります。8時半から、出すだけでいいのかと。例えば反論としましてはね、あそこから走ったら、時間がかかり遅いですよ。8時半でしょ？
事務局（村田）	● 7時40分です。
森住委員	● 普通出てるんですか？
事務局（村田）	● 同じ時間に出発しようかと。
森住委員	● その時間を例えば遅らせたならどうなるという疑問も出てきます。それはまた今度やるのかという疑問出てくるでしょ。その辺の話を充分した上で実施した方が良いと思います。
渡邊委員長	● 話ばかりして、中々出来ないということですね。取り敢えずやってみて。
森住委員	● そんな考えもある。関係する住民の方に知らせることが大事だと言ってるんです。
渡邊委員長	● 1回やったら、皆、なんだなんだとなりますから。そこから次に、これで第1回目やりましたと書いてもいいと思います。
森住委員	● 位置付けが大事だと言ってるんです。基本的な話はここでした方が良いと言ってるんです。
元島委員	● そういうことこそ、事務局の方から、市の記者室にでも投げ込み記事で掲載してほしいと、無関心な市民の人にアピールして知ってもらうのも大事なんじゃないですか。
渡邊委員長	● 新聞の前宣伝、どうですか？10月のいつか分からないけど、するらしいという怪しい情報。何か難しいといたら、難しいですね。
森住委員	● 位置付けですよ。何のためにこれするのかを強調するのが大事。
渡邊委員長	● 日時とかはっきりしたことは、未定じゃまずいと思いますが、10月初旬から中旬と書いて行く予定だと。これはこういうものであるという市民に知らせるという行為を行ったかどうかという、提案ですね
A委員	● 社会実験、いいんですが、実施する前に、新しい施設でどういうごみの集荷体制にするのかを決めないといけないと思います。毎日の集荷のブロック、車の配車64台、交通ルートを決めていかないと、64台が今県庁東まで行くかどうかは、別の問題です。その前の計画を詰めた上で作業に入らないと。新しい場所に新しいクリーンセンターを設置して、奈良市の全体のごみの集荷をどういう形でやるのか、その組み立てをやってからでないと。
森住委員	● 今の論点は、アバウトでいい訳で、今大事なものは、こういう意味のあることを市民参加でやる。それを訴えるのが大事ですから。やってみて、それで

	<p>困る結果が起こったら、改善策として、A委員さんの案がいいと思います。時間を遅らせたらどうなるかとか、作業員の方や、収集される地域の方が困る事態が起こりますが、具体的な問題どうするともっていきましたら、正に実感伴います。</p>
A委員 森住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● それは、僕は反論します。</li> <li>● どうぞ、そういうことをここでやったらいいと思います。</li> </ul>
A委員 渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交差点から県庁東までの時間交通量は分かる訳です。電算機に64台を放り込むような計算は、実験しなくても、架空計算であればできるんです。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 計算については、私は専門の工学部の学者ですが、この場でも専門の方に道路のシミュレーションして頂いて、画像で出してもらったことがあったと思います。ある程度のことは分かる気がしますが、市民感情として、計算というものに対し、いくら信用するか。原発の事故の周辺でも、計算結果に対する猜疑心は、当然出てくる訳です。身をもって、皆でやってみようというのは、納得できると思います。計算結果がほぼ一緒になれば、それで皆納得するだろうし。計算結果は、立証を伴って信用し納得されると思います。</li> </ul>
A委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 例えば64台が、必ず県庁東まで行かれることは、まずないんです。青山経由の場合もあるし、ルートは色々あるんです。その仕分けをしないと、数字の当てはめ方を、そこまでやった上で、計算できますね。ただやりやいいってもんじゃないですよ。</li> </ul>
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内訳を言わなかったんですが、65台の内の2割程は、平城山大通りを通過して、西方面に行きますので、実際には52台程が県庁方面に行き、13台が平城山方面に行きます。今の収集体系に合わせて考えてます。</li> </ul>
A委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市街地の中の交通体系を考えると、学園前の方側に行かれる車は、例えば環状線使って、西へ走る。そういう計画を図面上で設定して、実験でやりたいというなら分かるけれども、ただ一番から走らせて、そうしないと分からんというのは、今の文化の進んだ段階では苦しすぎます。</li> </ul>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実験を実施するにあたって、現実の収集車の動きと、実験する条件とが大きく違わないようにということで、考えてよろしいでしょうか。</li> </ul>
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この点は前回議事録出てますが、前回5月にかなり議論して、森住先生から、県庁東交差点以東の沿線の全ての自治会に事前にお知らせすることが必要じゃないですかというお話もあったと思います。日まで決めてしまうと、妨害が心配であれば、10月か11月頃にやりますという広報はした上で、全部の自治会におろして、市民全体にもしみんだよりなどで、市としては、道路問題かなり重視して実験をしますということは広報して、細かい進め方については、東部の自治連合会の方々と詰めて頂いて、現実の住民の方も、どんな形で参加して頂けるのか、それは詰めて頂いて。大体そんなところでいいんじゃないですか？</li> </ul>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一回走らすだけで終わる訳でもないと思うので、それから県との協議も並</li> </ul>

森住委員	<p>行して行って頂きますので、県からどういう回答がくるか、既に色々やっているとありますが、市の側からも、道路に関して支出はある程度必要だという認識を、我々も対外的に説得しなければならないので、そういう材料の一つになると思いますけれども、この話暫く続くと思います。審議はもちろんですが、公開の場として、位置付けて頂けたらと思っています。</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今の私とA委員でこれだけ意見が違ってる。やることは一致していますが、具体的にやると、思いが色々あります。これでいこうとなるまで、かなり時間がかかります。この時間とらないと、ボタンの掛け違えになる。その意味で部会を作り、この建設問題と別にしないと、東部が参加しにくいです。建設問題とは別だと位置付けて、東部の方だけじゃなく、他の関心のある地域の住民の方も参加する気があれば、一緒に参加して実験する方が、みんなの関心高まると思います。私も行くつもりです、言ったからには。</li> </ul>
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実験は、10月に行いますので、今から変えてまたもんで、今作られてる計画で大きく変わると何です、並行して具体的なものを立ち上げるなど、皆さんどうですかという形で進めていきたいと思っています。</li> </ul>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 先程言われた中で、勘違いがあるといけないので伝えておきたいんですが、この交通実験は、決して東部の方から言われた訳ではなくて、雑談の中で話がでてきて、市としては是非、そういうことをしたいということをお願いしてるような状況で、東部から要請があった訳ではございません。</li> </ul>
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● どれくらい混むのかやってみないと分からんという話も、雑談から出てきたものですので、要請に基づいてやってるということは、我々つままないといけないので、ここは気を付けたいと思います。</li> </ul> <p>あとしみんだより出したんですが、この反響はいかがなんでしょう。</p> <p>「しみんだより7月号の記事に対する問合せの説明」</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 5件、問合せ等があったということですね。市民の手元に行くのは7月最初くらいですから、今からくることはないと思いますが。左京地域の方からは、跡地がどうなるかというのと。候補地の人からは、①②に書かれていることは、住宅地というご提案。それから経過について、事業者の方がいらっしやったんですね。実際にはおやつと思っても、問い合わせに行動に出る方というのは、あまりいない訳で、充分かなと思うんですけど。</li> </ul>
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般的には、読んでもそれを実際に行動に移して、よっぽど腹が立てば、それはあるかもしれない。5件あるというのは、そこそこ読まれているとみていいと思います。予想したより、いいものできたなという印象を受けるので、これとあいまって、毎月という訳にもいかないでしょうが、Q&amp;Aなどを使いながら、状況によっては、折込をやっていくことも含めて、継続していくことが大事じゃないかなと思います。</li> </ul>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 左京地区自治連合会からの説明会の申し入れを頂いているという話をしましたけど、こちらも少し詳しくお願いします。</li> </ul>

事務局（村田）	<p>「左京地区の自治連合会から市長あてに、新奈良市クリーンセンターの建設の説明会開催の申入書の説明」</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市長宛の書面として、どう対応するのかをメンバーで相談し、市長と意見交換をして、それは公開の場で行うものではないと私は考えてます。今日はここで市長がどうするべきとか明言することを避けたいと思いますが、あくまで公害調停で、法的な取り決めの元にこれを動かしてますので、それにふさわしい行動をしなければならない。こういう公開の場で、こう言うところは気を付けておくべきだというご発言がありましたら、たまわりたいと思います。時間がかかっている複雑な経緯は、理解してもらうために説明しないといけないし、早く進めないといけないものでもあります。そういうことを、可能な限り、相談していきたいと思います。</li> </ul>
田中副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 移転というのは受け入れ先の同意がなければ進められないということで、そういう意味では確定的なことは当然言えるはずがないとは思いますが、只、移転の計画を10年ということで目標を設定した公害調停があるんですから、それを一生懸命取り組む姿勢は必要だし、当時調停を締結したときの市長とは違いますので、そういったことも含め、真剣に市長が先頭に立って、まじめに取り組んでいくことを示すのは、必要だと思います。是非、真剣な姿勢を市長自らが表明してほしいと思います。</li> </ul>
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 私も田中副委員長と同じく、公害調停の申請人側の代理人だったんですが、老朽化が進み早期移転を願って公害調停出しましたが、田中幹夫先生が、市の代理人になった訳ですが、最後まで、表現の問題について、当時の藤原市長も含めて、色々なやりとりの中で、私は画期的だと思いますが、公害調停は成立した。全市的な課題ですから、学識経験者および公募の市民も参加するし、公害調停に関わった申請人の会からの推薦でも委員を選ぶということで、めずらしく私も入ることになったんですが。この間の6年、中々進捗しない。選定すると非常に難しいですけれども、色んな要因があって。だいぶ時間経ってきて、相当遅れてることについては、我々も努力足りないのかなと思ったりすることもあるし、地元の方から、こういう要望書が出されるのは当然だと思うので、市長が代わったといいましても、議会の同意も得た上で締結をした約束ですから、これを実行するために、それなりの意志表示は、地元に対して説明し、公害調停の精神に対して一刻も早く、クリーンセンターという名称にふさわしいような形で用地を選定し、施設を造っていくことを実現できるように、最大限努力していくことを、市長を先頭にやっていく必要があると思います。只、今の時期で、次のステップとして用地を決めなきゃならない。我々2つしか候補出さなかったんで、市が、今決まっている東部の方に、自ら足を運んで精力的にやって頂く必要があると思いますが、じゃあ、どちらが先なのかと。また両方いるんだと思いますけどね。最終決断していかなきゃなりませんけれども、現施設がある公害調停の相手方であるこ</li> </ul>

<p>阪本委員</p>	<p>の左京地区に出向いて、説明をされることは必要ではないかなと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公害調停が締結になって、約10年くらいの期間で新工場が竣工できるであろうという計画で、我々地元住民としては、あと10年という感じでありました。熱心に慎重に議論積み重ねてきたんですが、この委員会が開催されてから5年数ヶ月になります、現在、こういう状況です。地元の定例役員会等でも、私も説明はさせてもらってますが、皆さんの声としては、10年と言ってたけれど、すでに5年経過して、本当に大丈夫なのかと、率直な疑問です。約束通り10年でどうこうとは言いませんが、この遅れてきた時間を取り戻すべく奈良市側の積極的な行動を是非示してもらい、今現在、清掃工場を抱えてます左京の住民としましては、少しでも安心できる形を作ってもらいたい。老朽化が進み、30年程経過していますが、それでも1年365日、定期的な修繕を除いて、毎日動いています。あと10年間あるいは15年間、いつまでこの状態で、しのいでいこうとお考えなのか、逼迫した状況であると。地元のこの清掃工場は、一刻の猶予もならないという、市の姿勢を、市長さん自ら先頭に立って見せてほしいというのが、我々の思いです。</li> </ul>
<p>田中(幹)委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 奈良市の代理人だったものですから、一言ご挨拶しなきゃいかんと思ったものですから。本当に申し訳ない。調停証書の約束の重みは、ひしひしと感じておりました。審議会のやり方について、言いたいことない訳ではないですが、奈良市としては弁解すべきではない。約束を守るのが一番大事ですから。奈良市の代理人として責任を感じております。どういった態度で示すかという問題は残ってると思います。</li> </ul>
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 重い言葉がいくつかありました。市長宛の文章でもあり、道路問題も絡んでますので、簡単にすぐに、左京地区でいい返事できるとは思ってないですが、慎重であっても、公害調停のことも考えてやって頂きたいと思ってます。我々も、できる限りの協力したいと考えてます。</li> </ul> <p>Q&amp;Aも、具体的なものについては、もう少し揉んでということですが、私はしみんだよりで、どういったことを載せるかを、次回もやりたいと思ってまして。道路について、今回は大枠の話になりましたが、道路問題について、例えば半分でもいいから載っけたらどうか。10月に実験行いますので、前宣伝は確かに新聞なんかもいいかもしれませんが、なぜこういったことに問題が生じるのか、そこに焦点を絞ったらどうかと考えます。Q&amp;Aの方は、道路以外のことについて、比較的、初歩的なことがあったらいいと思っております。道路の問題は、県とのやり取りもありますし、市の財政的な支出というのも、段々現実の問題として動いてくると思いますので、時期的にもいいと思います。次回、9月16日は、今すぐに審議する内容もないのですが、進捗状況の報告が一番大きいかと。9月はQ&amp;Aのことを具体的なやつをいくつかというくらいかと思えます。  </p>
<p>森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● それでいいと思いますが、市長さんに、地元に入って頂きたいというとき</li> </ul>

渡邊委員長	<p>に、新施設のイメージをある程度、ここで議論しないと、市長さん、何も言えないので、どういう回答をして頂いたらいいのか、具体的な議論をしたらいいんじゃないですか。</p> <p>問題になるのは、焼却優先ではないか、もっと規模を縮小できるはずと理念的におっしゃる。ところが現実には減らそうと思うと、色んなバリアが有り、超えられないと。理想的な状態に、中々いけません、プロセスが見えないので理念的な主張される方が多いんです。そういう議論をすれば、現実的にどう言ったらいいのかが見えてくると思います。</p>
事務局（吉住）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リサイクルについては、西暦2000年に環境省や循環基本法ができ、非常に機運が盛り上がった時期があり、最近、エネルギーだとか電気だとかありますが、リサイクルのやりすぎの弊害もありますし、やっと冷静に議論できる時期に入ったこともあると思います。現実的な施設運営の方法を、議論し勉強するのが、よろしいですか。日程の話しますが、今回は9月16日。その次ですが、11月17日木曜日いかがでしょう。事務局的には間に合いますか？ 県との話し合いも、ある程度目鼻付けた状態で、無理ですか？</li> </ul>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県の答えが、中々すぐにはなくて。来年必ず実施しなければならない事業ではないので、候補地選定の後環境アセスメント3年間必要ですので、アセスメントしている間、建設工事には入らないかもしれない。お話させて頂いて、すぐには出して頂けない雰囲気かと思いますが、できるだけ努力させていただきます。</li> </ul>
田中副委員長 佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3月の時点で、答申をお返ししたのは、予算の権限が、委員会にはないので、いくら話しても決まらないからです。そのあたりのことを思い出して頂いて進めて頂く。</li> </ul>
田中副委員長 事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設のあり方の叩き台という話があったと思うんですが。</li> <li>● これについては大いに議論しましょう。各委員の思いも含めて。</li> <li>● 事務局の方から叩き台を…。</li> </ul>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 9月にコンセプト等の叩き台を作らせて頂いて出させていただきます。</li> </ul>
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次回は9月16日で、コンセプトというか。実際のはどうかということ。それでは今日の委員会報告はこれで終わりとなります。</li> <li>● 長時間に渡り、ご審議頂き有り難うございました。次回の策定委員会は9月16日金曜日の開催です。会場は奈良市役所北棟6階第22会議室となっております。これを持ちまして、本日の委員会は閉会とさせていただきます。</li> </ul>